

災害ボランティアに参加しました ～岩手県大船渡市～



7月22日(金)～24日(日) 和光市社会福祉協議会が主催した「災害ボランティアバスパック」で岩手県大船渡市に災害ボランティアへ行ってまいりました。私たちが担当したのは、泥で詰まった側溝の泥掻き作業です。

2日間で復旧できた箇所はわずか一区画ですが、その積み重ねが被災地の復興に繋がると信じています。しかし、訪問した時は私たち以外の参加者は少ないのが実情でした。より多くの方の参加が求められています！



↑ 側溝の泥掻き作業の様子 (井上は写真左)
①溝の蓋を外す→②スコップで泥を掻き出す→③土のう袋につめる→④蓋を戻す。



↓ 作業後、きれいになった側溝

皆さまも是非ご参加を！

第2回 和光市ボランティアセンター 災害ボランティアバスパック参加者募集中！

〔日時〕平成23年9月17日(土)～19日(月・祝)
〔行先〕大船渡市(予定)〔応募締切〕9月7日(水)
詳しくは 和光市社会福祉協議会(048-452-7606)まで

開催します！



主なテーマ ・6月定例会 報告
・架け橋プロジェクト第2弾 「オリンピック道路の危険箇所を探せ！」等

9月4日(日) 午後2時～4時 会場: 本町地域センター5階 (定員:30名)

「政治をわかりやすく身近に！」をモットーに市議会時代から続けています。



◎ ホームページをリニューアルしました！

井上わたる 検索

<http://inouewataru.com/>



◎ 埼玉と和光の政治をわかりやすく伝えます！

「井上わたるの和光ブログ」

<http://inouewataru.blog.shinobi.jp>

◎ リアルタイムで議員活動を伝えます！意見交換の場にも！

twitter (ツイッター) も活用中です！

ツイッターを見るには… <http://twitter.com/inouewataru/> を入力

発行: 埼玉県議会議員 井上わたる
連絡先: 井上わたる事務所(刷新の会 和光支部)
〒351-0112
埼玉県和光市丸山台1-10-18 アントワープ平岡
503号室(ドラッグストア「内観堂」の5階)
TEL 048-424-3684
FAX 048-424-3854
e-mail inoue_airline@yahoo.co.jp

◆井上 航(わたる)の経歴◆

昭和54年生まれ 31歳
平成14年 立命館大学 法学部 環境生活法コース 卒業
平成14年 株式会社パソナ 入社
以後、平成18年まで人材支援会社にて勤務
平成19年～平成23年 和光市議会議員
平成23年～ 埼玉県議会議員
・福祉保健医療 常任委員会
・自然再生・循環社会対策 特別委員会
【趣味】演劇、落語 【特技】卓球(市内卓球サークル所属)

埼玉県議会議員

井上わたるの

31歳 無所属



県政報告

配るホームページ第33号

あなたは 48万7351 番目の読者です。

前号までにお届けした枚数です。



新型インフルエンザ対策ですね

今回埼玉県では4億362万円で250万カプセル(125万人分)を購入

「福祉保健医療常任委員会」では備蓄用タミフルについて審議しました

次に私の所属する「福祉保健医療常任委員会」と「自然再生・循環社会対策特別委員会」で審議されたことについてお話します

7

県としては今回の追加備蓄で延べ134万人分のタミフルを備えたことになりました

それへは知らなかったです

単位:万人

	H18~20年	H21	H22	今年度	合計
タミフル	58	26	25	25	134
リレンザ		15.2	0	0	15.2

8

「自然再生・循環社会対策特別委員会」では県が行っている

- ・住宅用太陽光発電設備設置補助
- ・電気自動車の普及
- ・省エネルギー(節電)対策や省エネ機器(節電)対策への取り組みに対して審議をしました

H22、23年度の申請件数(累計)

年度	4月	5月
H22年度	841	1,330
H23年度	1,083	2,342

※H22年度分は既存住宅のみの数値
※本年度の申請は予算額の7億6千万円に達したため、打ち切られています。

10

そして、私は公共施設を積極的に開放することで家庭の消費電力を下げる「クールオアシス」の普及も提言しました

お熱中症にはどうか引き続き暑い夏が続きます

熱中症にはどうか引き続き暑い夏が続きます

11

12



↑ 要望書提出の様子(井上は右から2番目) ↑ 上田知事へ直接提出

私の所属する会派「刷新の会」では、東日本大震災に関する県の対応について様々な提言を重ねています。

6月定例会前に提出した「要望書」の内容はその後の施策に大きく反映されています。(下記ご参照ください。)

また、福島県双葉町の方々が避難する加須市の旧騎西高校や液状化現象が発生した久喜市の南栗橋地区へも視察に伺いました。この震災で発生した様々な事象を教訓とし、皆様が安心して暮らせるように力を注いでまいります。

要望事項

放射線対策

- 県内100カ所で予定している放射線量測定については、幼児や小学校低学年の子供の身長を考慮して地上50cmでの測定も行い、一刻も早く開始するとともに、定期的な実施と県民への正しい情報提供に努めること
- 県有下水処理施設の汚泥などの放射線量の監視体制を強化し、放射性物質を含む焼却灰の飛散、放射能の拡散を防止し、一刻も早い最終処分体制の再構築を図ること

- 県内116箇所、校庭等における空間放射線量の測定が実施。全ての測定箇所において地表面から5cm、50cm、1mの高さで測定されることになりました。和光市では広沢小学校が測定地点となっており、測定結果は次のようになっています。

		測定値(μSv/h)		
	測定日	5cm	50cm	1m
第1回	7月28日	0.072	0.072	0.074
第2回	8月9日	0.070	0.070	0.065

被災者支援

- 各市町村や関係機関と連携を図り、埼玉県への避難者の意向を踏まえた就業支援に努めること
- 避難者への公営住宅の提供等について、中・長期的な支援に努めること

- 処分方法は未だ確立せず。和光市の新河岸川水循環センター敷地内での汚泥の保管が続いているが、施設周辺の空間放射線量は0.06μSv/hであり、市内の他の測定地点と変わらない値。

- 「雇用創出事業」として補正予算化
 - ・ 県民向けの「中高年齢者就業支援事業」を避難者に対しても拡大して実施。
 - ・ 「震災被災者実務研修雇用促進事業」として研修&労働体験を実施し、埼玉での再就職を促進。

防災支援

- 県産農作物の風評被害を最小限に食い止めるとともに、県内消費の拡大を促すこと
- 帰宅困難者対策については、今回、市町村により対応に大きな差が生じたため、県内各市町村と連携を深め、円滑な支援を行うこと

- 「被災者受入事業費」12億円を補正予算化
- 埼玉県産の牛肉、野菜類、茶、麦類、原乳、牧草、土壌、水産物で検査を実施。いずれの検体も「不検出」もしくは「暫定基準値以下」であった。(8月10日現在)

この他、福祉避難所の設置・防災無線網の充実なども併せて要望しています。

- 駅周辺に帰宅困難者の「一時受入施設」の確保を目指すように「県防災計画」を改正
- その他、行政と鉄道事業者の連絡態勢を構築することも盛り込まれる予定です。